

# 留学報告書

工学系研究科 技術経営戦略学専攻 修士 2 年

三井 希

派遣先大学名：スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (ETH)

派遣先専攻名：Department of Technology, Economics and Management (D-MTEC)

国・地域名：スイス、チューリッヒ

留学期間：2014 年 9 月~2014 年 12 月

## 1. 留学準備

2014 年 1 月、就職活動を終えてすぐに留学準備をはじめた。まずは国際交流室に相談に行き、2014 年冬学期からの留学がまだ申請可能であることと、語学要件や必要書類などの説明を受けた。時間にあまり余裕がなかったが、国際交流室の職員の方々に親身に対応していただいたため、スムーズに準備を進めることができた。また、前年度に ETH に留学した友人がいたため、色々と情報を得ることができた。

## 2. 学校生活

大学では、主に D-MTEC での授業を受けていた。主に技術経営戦略学専攻にない授業を選択した。研究については、配属希望だった研究室が D-MTEC ではなかったため、留学開始後に直接交渉し、研究生としての所属を認められた。研究室の方々には様々なサポートを頂き、非常にお世話になった。しかし、試験装置の順番待ちが長かったり、使用したい試料や器具が手に入らなかったり、いざ実験を開始しようと思ったら装置担当の技官の方が 2 週間のバカンスに行ってしまうと装置が使用禁止であったりと、スムーズに進まないこともあった。改めて東大の研究環境は恵まれていると感じた。最終学年で留学する人には特に言えることだが、研究環境の実態は実際に留学してみるまで分からないことが多く、また必ずしも思い通りに研究を進められるとは限らないので、日本にいる間に余裕をもって研究を進めておくことが重要である。

## 3. 余暇、週末などの過ごし方

授業後や週末など、ESN という留学生交流団体による、スイスの文化を知ることができるようなイベントが充実していたのでよく参加していた。また、週末に時間のあるときは、スイス国内外を旅行した。旅費を抑えるために LCC や Halbtax (スイス国内の鉄道の乗車券をすべて半額で購入できるチケット)、Greis 7 (夜 19 時以降電車代が無料になるチケット) などを活用した。

#### 4. 生活

留学生寮に住んでいたため、世界中から来た留学生と交流ができた。共同スペースが広く、多くの時間を共用リビングでフラットメイトと過ごした。

スイスは物価が高く、また円安の影響もあって、常に如何に節約するかを考えていた。乳製品以外は高く、特に肉や魚、野菜などは日本の倍以上の価格という印象だった。ドイツは比較的物価が安いこと、またチューリッヒはドイツとの国境に近いこともあり、スイスのスーパーはあまり利用せず、代わりに週1回ほど上記の Greis 7 を利用してドイツの南端の町に買い出しに行っていた。

#### 2. 最後に

修士論文提出間際という忙しい時期でしたが、留学によって貴重な経験ができたことをとてもうれしく思います。留学を後押ししてくださった羽鳥先生、影山先生、国際交流室の職員の方、留学先でお世話になった皆様、そして留学をサポートしてくれた家族に感謝いたします。